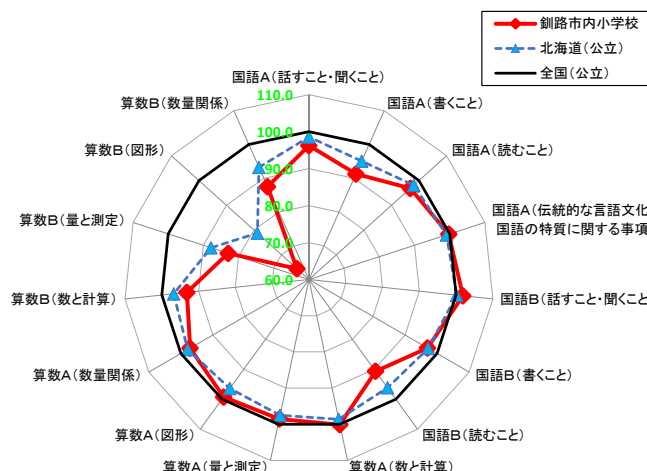


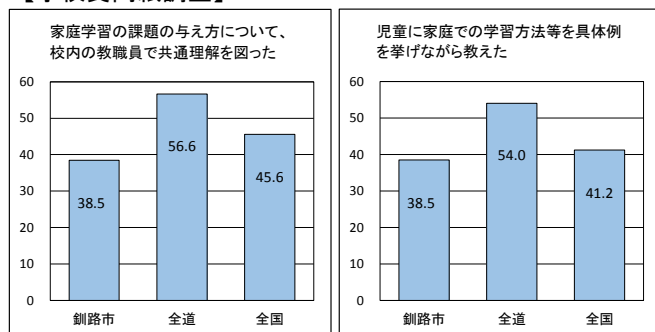
■ 釧路市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:26校、児童数:1190人)

【教科全体の状況】

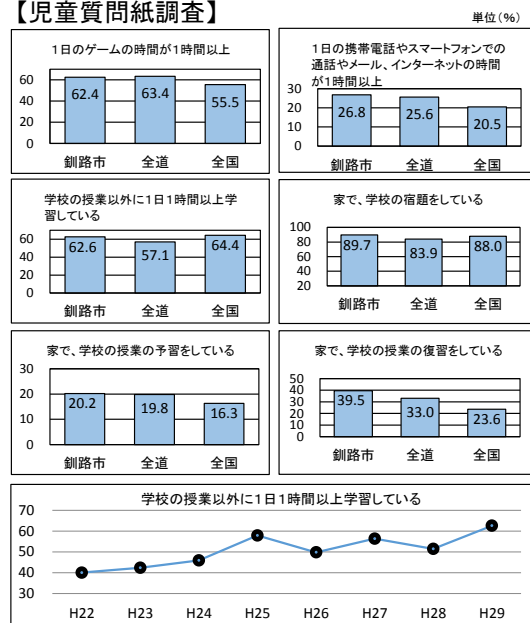
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Aでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全道を上回っており、Bでは、「話すこと・聞くこと」で全国を上回っている。 ○ 算数Aでは、「数と計算」で全国を上回り、「量と測定」「図形」で全道を上回っている。	○ 1日のゲームやメール等の使用時間が全国よりも長いことから、「家庭学習の手引き」や「生活リズムチェックシート」等を効果的に活用し、学習習慣及び生活習慣の改善に努める必要がある。
児童質問紙	○ 「ゲームやメール等を1日1時間以上している」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「学校の授業以外に1日1時間以上学習している」と回答した児童の割合が、全道を上回っており、経年変化では増加傾向にある。 ○ 「家で学校の宿題をしている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「家で学校の授業の予習や復習をしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 家で、学校の宿題をしている児童の割合や、普段1日当たり1時間以上勉強する児童の割合は、全道を上回っているものの、学校では家庭学習の与え方について全般的に取り組めていない傾向にあることから、今後は家庭学習の与え方や家庭学習の内容などを重視し、家庭学習が効果的に取り組まれるよう指導の改善を図る必要がある。
学校質問紙	○ 「家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図った」「児童に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えた」と回答した学校の割合が、全国を下回っている。 ○ 「授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的によく取り入れた」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。 ○ 「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的によく取り入れた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 授業中の目標提示と学習の振り返りについて、計画的に取り入れたことにより、児童が見通しをもって主体的に学習することができている。「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、授業改善を一層図る必要がある。

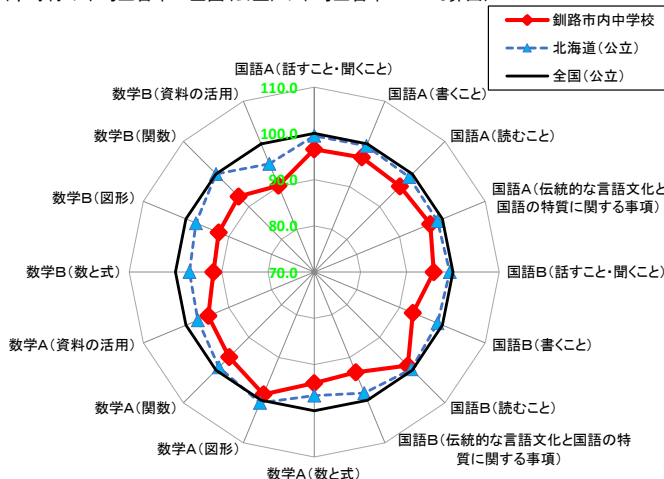
【釧路市の学力向上策】

- ◎ 長期休業中の学習サポートの実施及び大学生ボランティアの活用
- ◎ 放課後学習サポートの実施と支援員の派遣
- ◎ ほっかいどうチャレンジテスト(北海道教育委員会)の活用
- ◎ ALL釧路学力・体力向上八策(釧路教育局)の活用
- ◎ 釧路市標準学力検査の実施
- ◎ 基礎学力検証改善委員会の開催
- ◎ 学力向上セミナーの開催
- ◎ 教務担当者研修会の開催
- ◎ 釧路市学校改善プラン(学校教育指導資料)の作成・公表(「釧路市の教育」発刊)
- ◎ 「家庭学習の手引き」の充実と配布
- ◎ わかりやすい授業の取組(ICTを活用した授業研究及び実践)
- ◎ 生活リズムチェックシートの活用拡大
- ◎ 学習規律(釧路市スタンダード)の提示と実践
- ◎ 「授業改善の視点」の提示と実践
- ◎ 授業進度・時数チェックの実施

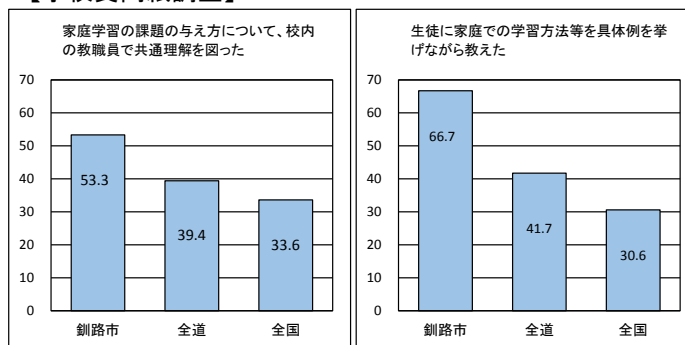
■釧路市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:15校、生徒数:1254人)

【教科全体の状況】

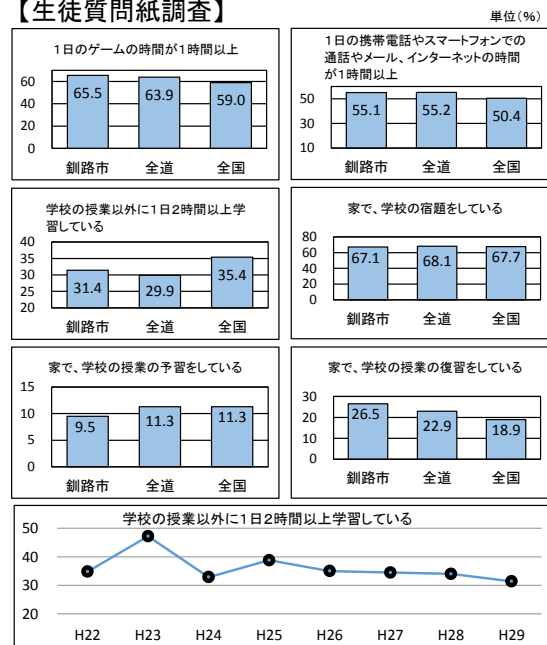
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Bでは、「読むこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 数学Aでは、「図形」で全国に最も近くなっている。	○ 1日のゲームやメール等の使用時間が全国よりも長いことから、「家庭学習の手引き」や「生活リズムチェックシート」等を効果的に活用し、学習習慣及び生活習慣の改善に努める必要がある。
生徒質問紙	○ 「ゲームやメール等を1日1時間以上している」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「学校の授業以外に1日2時間以上学習している」と回答した生徒の割合が、全道を上回っている。 ○ 「家で学校の宿題をしている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を下回っている。 ○ 「家で、学校の授業の予習をしている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を下回っているもの、 ○ 「家で、学校の復習をしている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 家庭学習の課題の与え方について教職員で共通理解を図っている学校の割合は、全国及び全道を上回っているものの、生徒の家庭学習の時間が全国を下回っていることから、今後は学校と家庭が十分に連携し、家庭学習の継続を促すなど、これまでの取組を充実させる必要がある。
学校質問紙	○ 「家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図った」「家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的によく取り入れた」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。 ○ 「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的によく取り入れた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 授業中の目標提示と学習の振り返りについて、計画的に取り入れたことにより、生徒が見通しをもって主体的に学習することができている。「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、授業改善を一層図る必要がある。

【釧路市の学力向上策】

- ◎ 長期休業中の学習サポートの実施及び大学生ボランティアの活用
- ◎ 放課後学習サポートの実施と支援員の派遣
- ◎ ほっかいどうチャレンジテスト(北海道教育委員会)の活用
- ◎ ALL釧路学力・体力向上八策(釧路教育局)の活用
- ◎ 釧路市標準学力検査の実施
- ◎ 基礎学力検証改善委員会の開催
- ◎ 学力向上セミナーの開催
- ◎ 教務担当者研修会の開催
- ◎ 釧路市学校改善プラン(学校教育指導資料)の作成・公表(「釧路市の教育」発刊)
- ◎ 「家庭学習の手引き」の充実と配布
- ◎ わかりやすい授業の取組(ICTを活用した授業研究及び実践)
- ◎ 生活リズムチェックシートの活用拡大
- ◎ 学習規律(釧路市スタンダード)の提示と実践
- ◎ 「授業改善の視点」の提示と実践
- ◎ 授業進度・時数チェックの実施